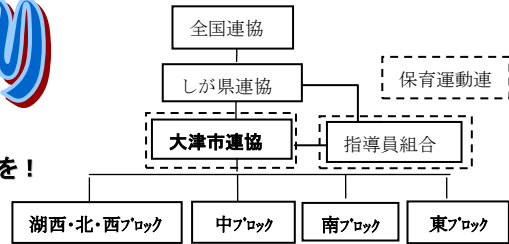


# 南連協だより

スローガン：子どもたちに豊かな放課後を！

otsu\_gakudo@yahoo.co.jp

http://www.eonet.ne.jp/~otsu-gakudo/



## 12/7 (日) 保護者と指導員の茶話会

滋賀県連協主催の研究集会講演会のあと、22名で茶話会を行いました。日頃の疑問や子育ての悩みなどをワイワイ話して楽しもう！という予定でしたが、緊急課題があり、真剣な交流会となりました。

長年の保護者の願いであった保育園新設が複数進んで**4月に約170名見込みとなる瀬田児童クラブ**について報告がありました。保育園が増えて児童クラブの人数が増えるというある意味自然な現象は、瀬田地区だけの問題ではありません。次の3つの質問に???となったら、「保護者会」を開いて子ども達の毎日の放課後生活を知ってみませんか？わからない部分は、ぜひとも指導員にお尋ねください。

Q1：来春のスタート人数を予想していますか？

Q2：夏休みの子ども達の様子、今の様子を見に行ったことありますか？

Q3：今後のクラブ生活における施設や人数について、保護者会で話し合ったことはありますか？



## 12/15 (月) 署名のご協力ありがとうございました！

瀬田児童クラブの窮状に、緊急で全大津市立児童クラブに署名のお願いをいたしました。約10日間という短期間にもかかわらず沢山のご協力をいただき、**3248筆**が集まりました。これは大津市全体の問題ととらえていることを示す数字ではないでしょうか。各保護者会会長の賛同署名も添えて、12/15に子ども福祉部長、児童クラブ課長に署名を渡しました。

署名はすぐに市長あて届けていただきましたが、現実に予算措置されるには

「市民」の切実な願いであることを市議会および市長に理解いただくための大きな動きが必要です。大津市連協として取り組みを考えていきます。

まず一番に気になるのが、来年の夏休みの児童クラブの状態です。このままだと、子ども達はどのように毎日を過ごすのでしょうか？

**新年、大津市全体の緊急の課題として請願署名**に取り組む予定です。**再び短期間の取り組み**になりますが、よろしくお願ひいたします。



## 12/7 (日) 第31回 滋賀県学童保育研究集会

『生活経験を太らせて子どもを育てる ～ 学童保育の意味と可能性 ～』

講師：福井 雅英氏（滋賀県立大学特任教授）

栗東芸術文化会館さきらにて催された滋賀県学童保育研究集会に参加しました。記念講演では滋賀県立大学特任教授である福井雅英先生の講演を拝聴し、子を持つ親として子供との接し方や、子供の無限の可能性について改めて考えさせられました。

育児や教育の場では、親や教師は子どもに対して“よい子・できる子・がんばる子”であってほしいと願ひ、その理想を目指して日々奮闘しているわけですが、子供はひとりひとり興味を持つ対象や関心事が違い、得意不得意の分野も違います。講演の中で、先生の荒れた子どもと接してこられた体験を聞き、一方的に子供を叱って抑えつけるのではなく、その違いや個性、考え方を受けとめた上で子供と接することが大切だと感じました。

また現在は学歴社会の中で、幼稚園から受験勉強をはじめの子も多い中で、“遊ぶ”ということが子供の成長にとってどれだけ大事かという話にはとても感銘を受けました。遊びは子どもにとって最も内発的な行動で、遊びの中から経験し、学ぶことは、時として学校で教わる勉強以上に子供を成長させるものであると思います。遊びの中ではけんかやトラブルも付き物ですが、失敗をしながら成長していくのが子供なのだという話を聞き、努めて小さな失敗を経験させてやることも、親として心得ておくべき事だと思ふと同時に、学年の異なる子供たちが集団で生活する学童保育の場が、子供にとってゆたかな生活体験の場となるように協力していきたいと改めて感じました。

(仰木の里東児童クラブ)



## 【編集後記】

気がつけば今年も残すところあとわずか。大人にとっては、職場でも家庭でも何かと気忙しく落ちつかない時期ですが、子供にしてみればクリスマスやお正月とワクワクするイベントばかり。欲しかったプレゼントを買って上機嫌の子供たちも多いのでは。遊びや宿題もしないといけません。年末は家族の一員として掃除のお手伝いも頑張りたいと思います。

(仰木の里東児童クラブ)